

2023年12月12日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

概要

全国景気*	このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
9月の生産動向	生産は足踏みがみられる
10月の個人消費	乗用車新車販売は10カ月連続で前年を上回る
10月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年を下回る
10月の住宅投資	新設住宅着工戸数は3カ月連続で前年を下回る
10月の雇用情勢	有効求人倍率は3カ月ぶりに前月を下回る

今後は、個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、推移していくかどうかに注視する必要がある。

※内閣府「月例経済報告(2023年11月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

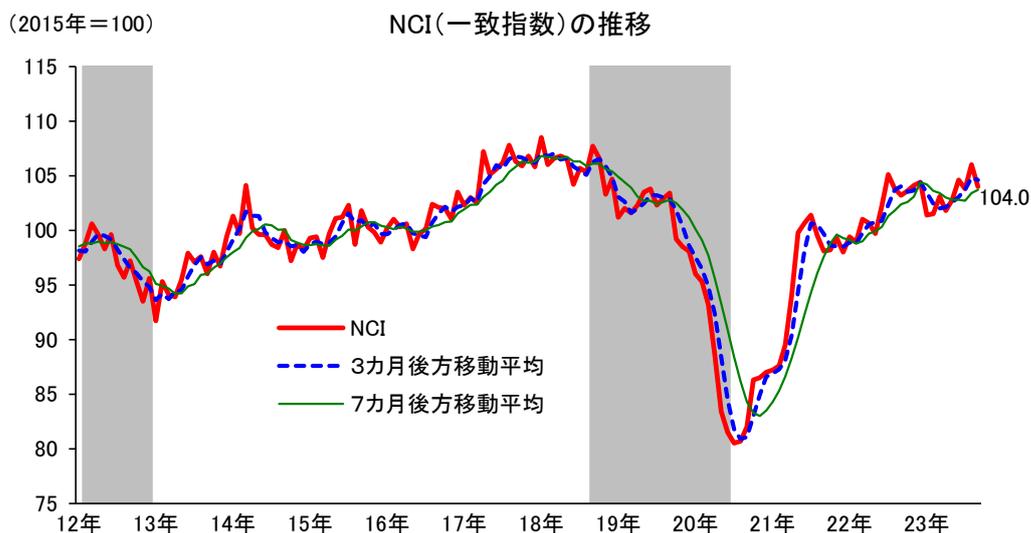
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501

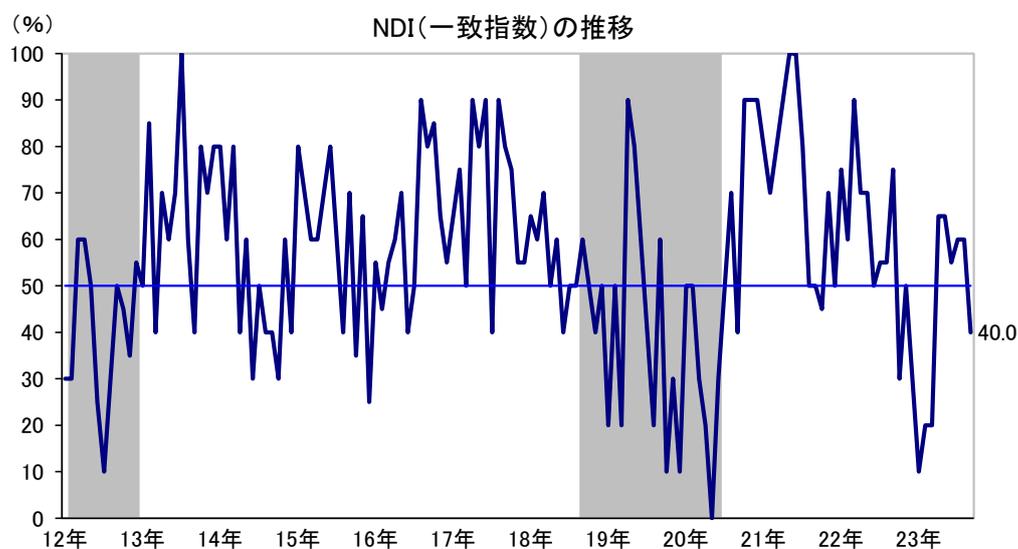


景気動向指数

- ・9月のNCI(一致指数)は、104.0と前月と比較し△2.0ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△0.2ポイントと6カ月ぶりに低下し、7カ月後方移動平均は同+0.3ポイントと2カ月連続で上昇した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、40%となり、景気判断の分かれ目となる50.0%を6カ月ぶりに下回った。



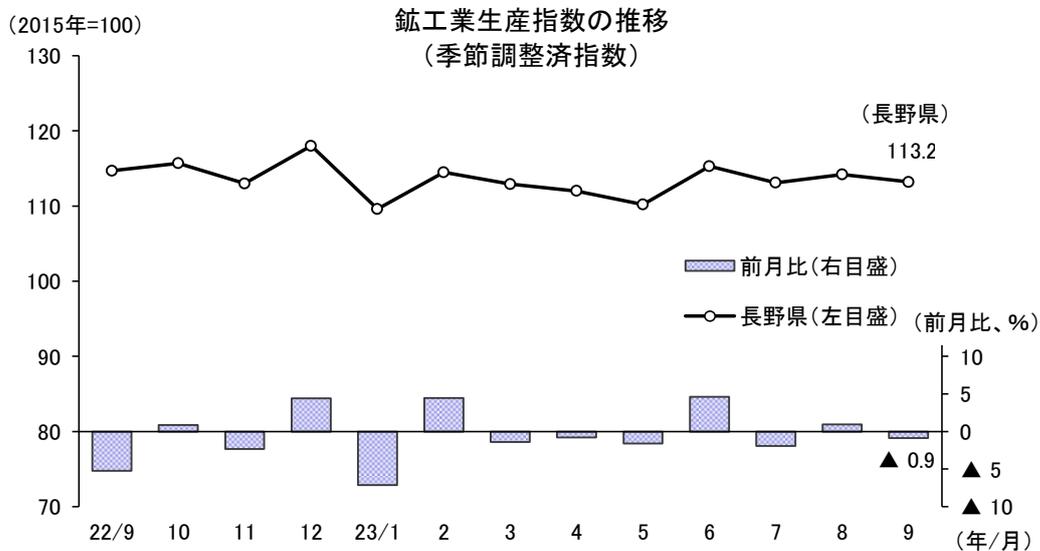
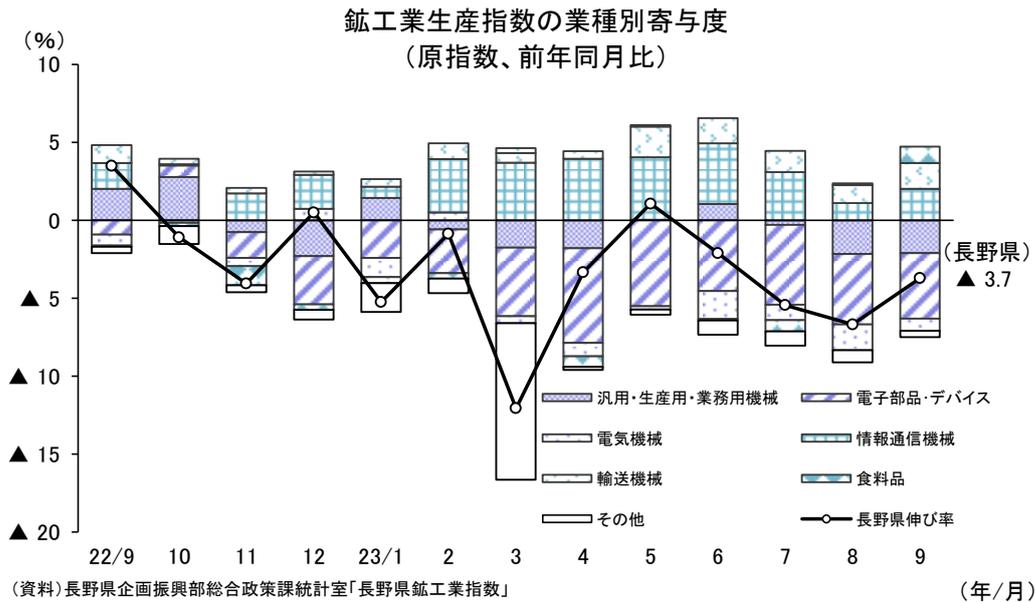
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

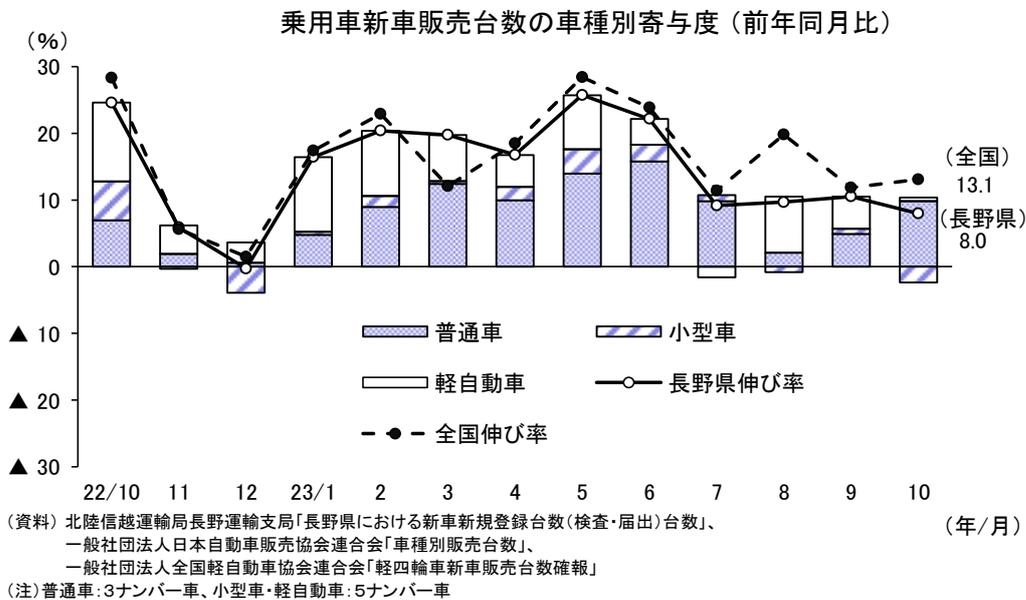
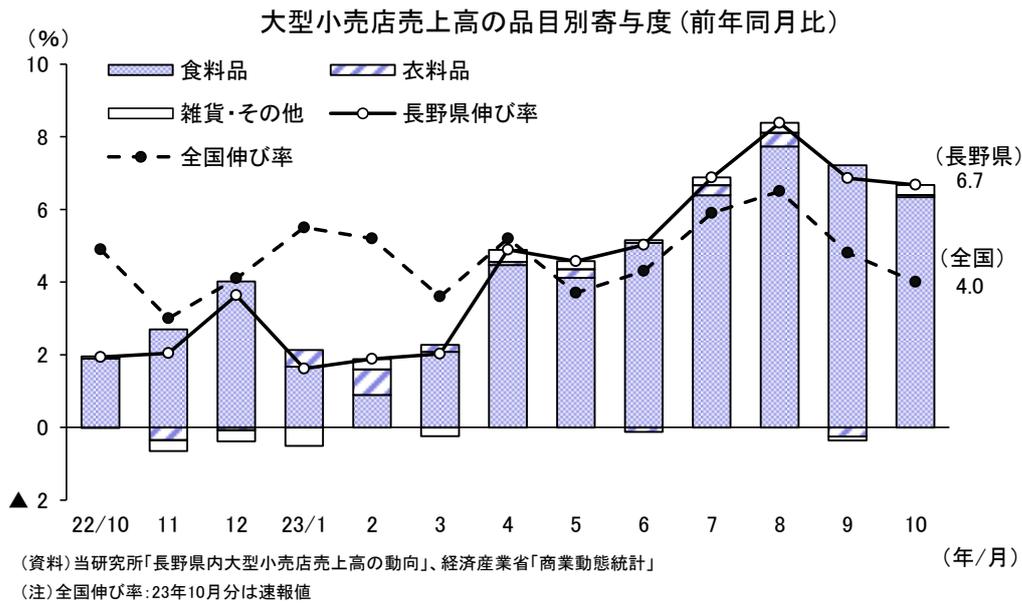
生産は足踏みがみられる

- ・9月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△3.7%、季節調整済指数が前月比△0.9%となった。
- ・原指数は4カ月連続で前年を下回り、季節調整済指数も2カ月ぶりに前月を下回った。車載用半導体不足の緩和により自動車部品などが堅調に推移しているものの、PC・スマートフォン向け半導体の在庫調整が続いていることや海外経済の減速に伴う外需の縮小により、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「情報通信機械」、「輸送機械」などが前年を上回ったものの、「電子部品・デバイス」、「汎用・生産用・業務用機械」、「電気機械」などが前年を下回った。



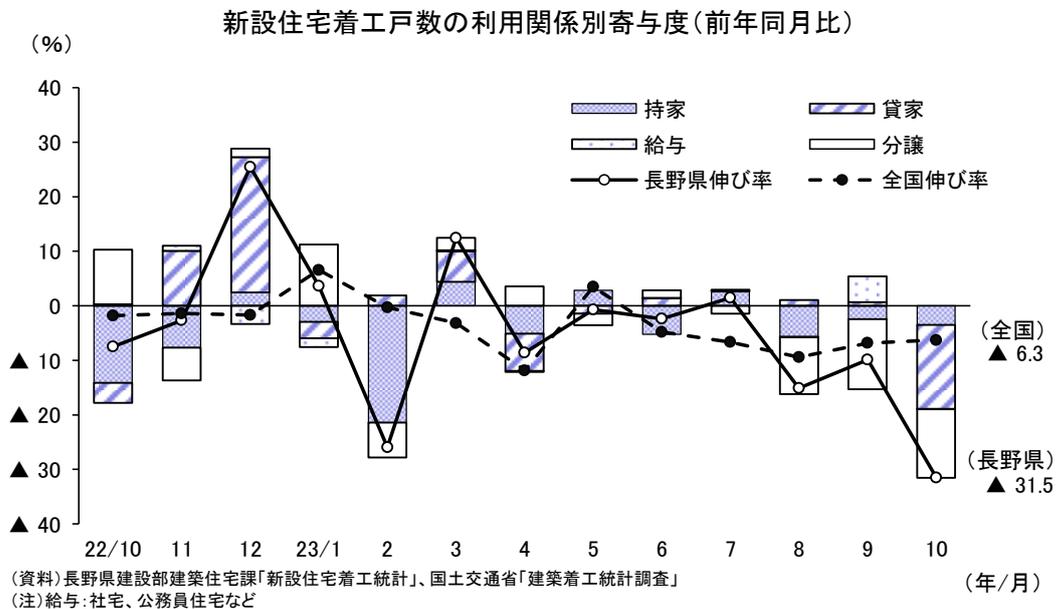
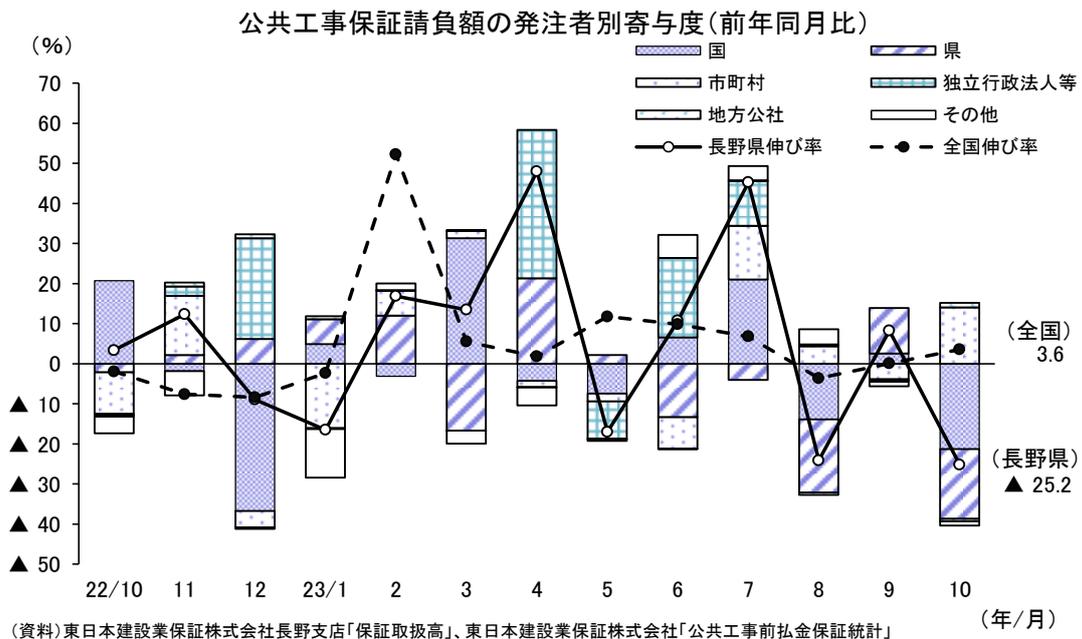
乗用車新車販売は10カ月連続で前年を上回る

- 10月の大型小売店売上高は、前年同月比+6.7%（売場面積調整前）となり、25カ月連続で前年を上回った。食料品は、野菜の相場高などで生鮮食品の売り上げが伸びたほか、販売価格の上昇などもあり、同+7.5%となった。衣料品は、気温の低下に伴い秋物が堅調で、同+1.1%となった。雑貨・その他は、化粧品などの売り上げが増加し、同+2.8%となった。
- 10月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが改善し、前年同月比+8.0%と10カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は同+31.8%と15カ月連続で、軽自動車は同+1.2%と3カ月連続で上回った。一方、小型車は同△10.1%と2カ月ぶりに前年を下回った。



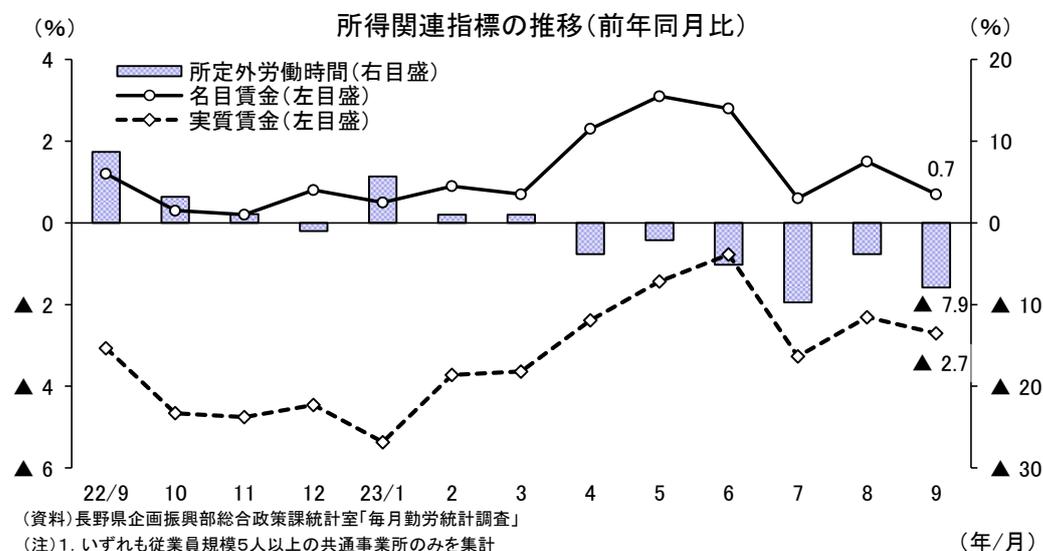
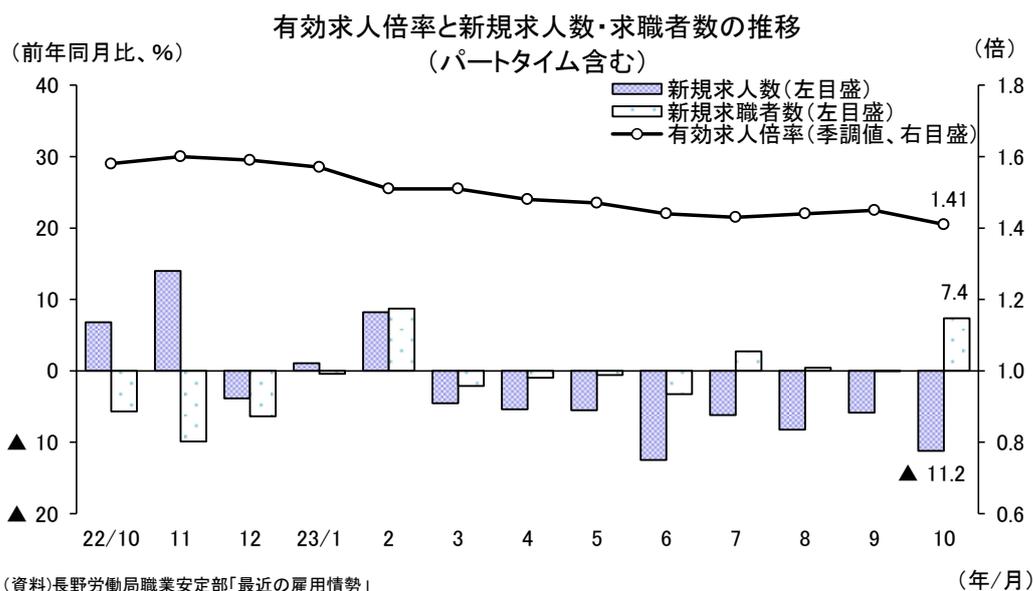
公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年を下回る

- 10月の公共工事保証請負額は、前年同月比△25.2%の106億2,200万円となり、2カ月ぶりに前年を下回った。発注者別にみると、市町村が同+44.6%、地方公社が同+457.7%と増加したものの、国が同△63.6%、県が同△54.6%、独立行政法人等が同△75.5%、その他が同△52.2%と減少した。
- 10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△31.5%の743戸と3カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家が同△7.6%、貸家が同△48.5%、給与が同△33.3%、分譲が同△57.1%といずれも減少した。



有効求人倍率は3カ月ぶりに前月を下回る

- 10月の有効求人倍率は、前月比△0.04ポイントの1.41倍と、3カ月ぶりに前月を下回った。
- 新規求人数(全数)は前年同月比△11.2%となり、8カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△10.6%、パートは同△10.5%となった。主要産業別では、医療・福祉が同+6.6%、宿泊業・飲食サービス業が同+1.9%と前年を上回ったものの、製造業が同△23.3%、建設業が同△10.4%、卸売業・小売業が同△7.0%などと、多くの産業が前年を下回った。
- 新規求職者数(全数)は、前年同月比+7.4%と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 9月の名目賃金は前年同月比+0.7%と29カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△2.7%と21カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同△7.9%と、6カ月連続で前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は全地域で5カ月連続で前年を下回る

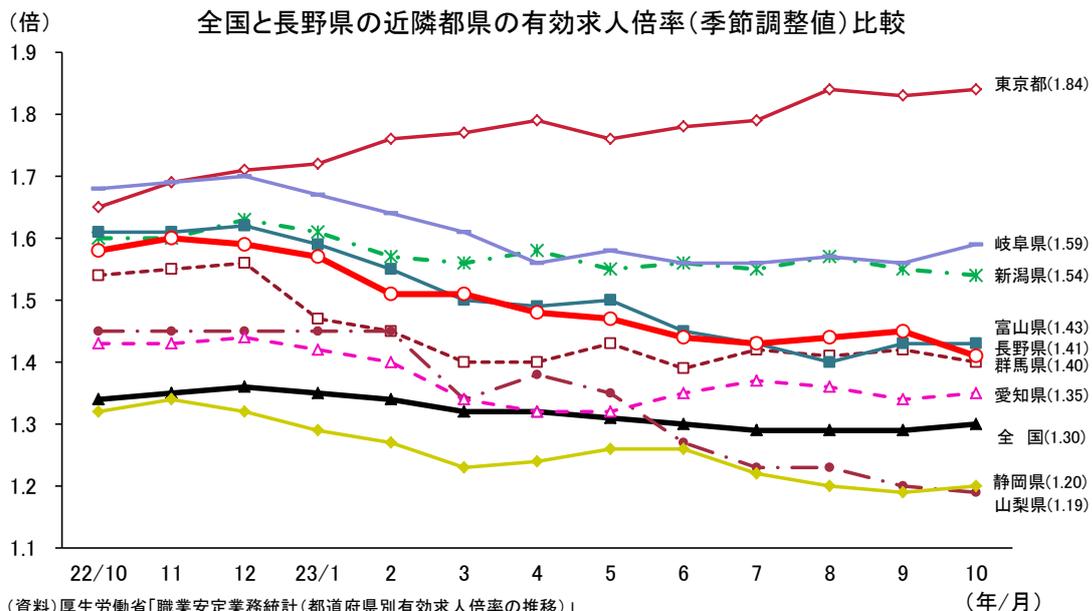
- ・10月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.13ポイントの1.43倍、東信が同△0.23ポイントの1.42倍、中信が同△0.21ポイントの1.52倍、南信が同△0.14ポイントの1.44倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、大町が1.96倍と最も高く、次いで木曾福島が1.57倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は37カ月連続で全国を上回っているものの、順位は前月より2つ下げ12位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年10月)

地域	北 信(1.43) (前年同月比▲0.13)				東 信(1.42) (前年同月比▲0.23)		中 信(1.52) (前年同月比▲0.21)			南 信(1.44) (前年同月比▲0.14)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.51	1.26	1.63	1.26	1.47	1.36	1.47	1.57	1.96	1.55	1.31	1.46
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.02	▲ 0.17	▲ 0.34	▲ 0.28	▲ 0.25	▲ 0.23	▲ 0.24	▲ 0.25	0.12	▲ 0.19	▲ 0.23	▲ 0.05
うち常用	1.34	1.22	1.22	1.17	1.35	1.30	1.24	1.41	1.37	1.45	1.19	1.37
前年同月比 (ポイント)	0.00	▲ 0.16	▲ 0.29	▲ 0.27	▲ 0.19	▲ 0.22	▲ 0.21	▲ 0.16	0.01	▲ 0.13	▲ 0.12	▲ 0.05

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」

(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む

2. 長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県